

世界が 懸念 していること

2026年3月

目次

1

まとめ

2

重要ポイント

3

懸念スポットライト:
貧困/社会的不平等

4

国別スポットライト:
チリ

5

世界の懸念:
長期的トレンド

6

経済フォーカス

7

調査手法

世界が懸念していること

イプソスの「世界が懸念していること」調査では、世界30か国で現在最も重要な社会問題や政治問題は何であると考えているのかを調査し、最新のスコアとその背景を10年分のデータをもとに探ります。

このグローバルサマリーレポートでは、世界中で最も懸念されていることを、自国が正しい方向/間違った方向のどちらに進んでいるかという人々の意見と共にご紹介しています。

国別、期間別、懸念事項別の調査結果の詳細な内訳もご覧いただけます。詳細については Joseph.Nadler@ipsos.com までお問い合わせください。

重要ポイント

1. イラン戦争

編集者からの重要なお知らせ：今月の実査は、2月20日から3月6日にかけて実施されました。アメリカは2月28日にイランを攻撃しました。

本調査における各国の実査は、この期間内でも開始・終了のタイミングが異なっている点にご留意ください。紛争開始前に調査を完了した国もあれば、開始後に完了した国もあります。そのため、本データは現在の意識を必ずしも反映していない可能性があります。特に米国の調査は、2月20日から22日にかけて実施されています。

国家間の軍事衝突といったテーマについては、来月号でさらに詳しく取り上げる予定です。それまでの間、本戦争およびその影響に関する最新の発表のまとめについては、[こちら](#)をご参照ください。

2. 失業に対する懸念の高まり

今月は、30か国全体で失業を挙げる人の割合が2ポイント増加し、29%となりました。これにより、インフレおよび貧困・社会的不平等と並ぶ水準となっています。

これは、同じく29%であった2022年2月以来の最高水準です。30か国中18か国で、前月から何らかの増加が見られました。

雇用に対する懸念は広範に及んでいるとみられ、ラテンアメリカ、ヨーロッパ、アジア太平洋地域のいずれにおいても、言及率の上昇が確認されています。

3. 移民管理への不安が拡大、ヨーロッパ以外にも波及

オーストラリアでは、懸念の水準が前月から3ポイント上昇し、28%が懸念していると回答しています。これは同国にとって新たな節目であり、前年同時期より11ポイント高く、2019年3月(同じく28%)以来の最高水準となっています。

同様に、南アフリカでも懸念を示す人の割合が新たな高水準に達しています。前月からわずかに増加して19%となり、2025年3月と比べて10ポイント高い水準です。なお、2025年12月には21%を記録しており、これは同国における過去10年間で最高の数値でした。

主要なデータ

33%

の米国人が汚職を問題と考えており、これは過去10年で最高水準です。

60%

のアルゼンチン人が失業を問題と考えており、これも過去10年で最高水準です。

40%

のコロンビア人が医療を問題と考えており、2021年3月に調査対象に加わって以来の最高水準です。

21%

のオランダ人が税金に懸念を示しており、2019年10月に調査対象に加わって以来の最高水準です。

28%

のオーストラリア人が移民管理を問題と考えており、2019年3月以来の最高水準です。

42%

の韓国人が経済状況は良好であると考えており、過去12か月で33ポイント上昇しています。






さらに詳しく知りたい方へ
本調査の30か国すべてについて、
国別レポートをご用意しています。

詳細は、
joseph.nadler@ipsos.com
までお問い合わせください。

世界が懸念していること 2026年3月

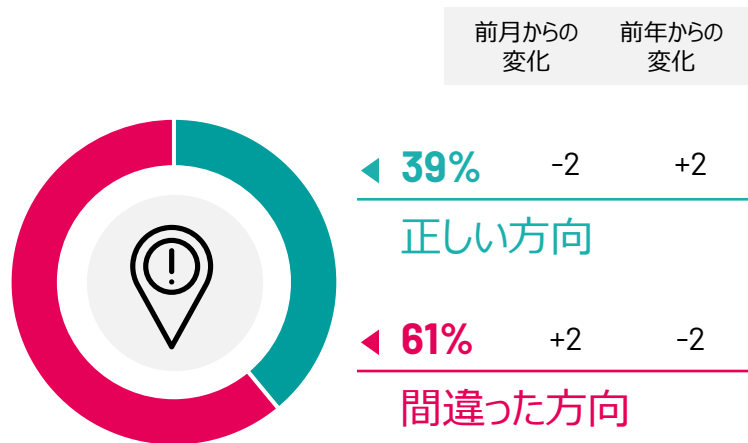
最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

	前月からの 変化	前年からの 変化
Crime & violence  33%	=	=
失業率/雇用  29%	+2	+2
インフレ  29%	=	-4
貧困/社会的不平等  29%	+1	+1
Financial/political corruption  28%	+1	+2

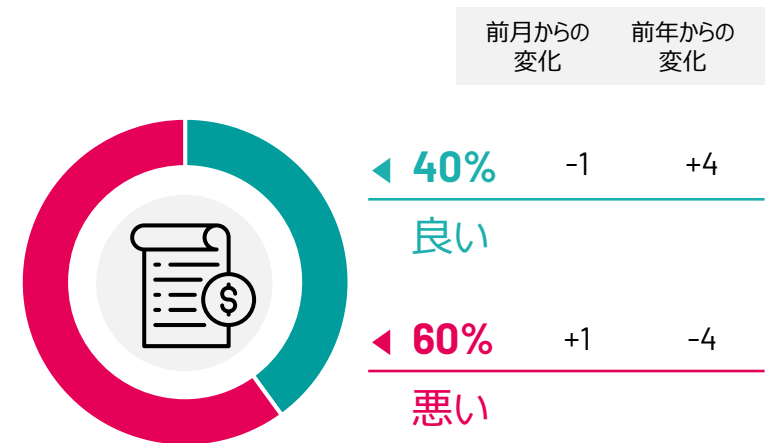
国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



経済の状況

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



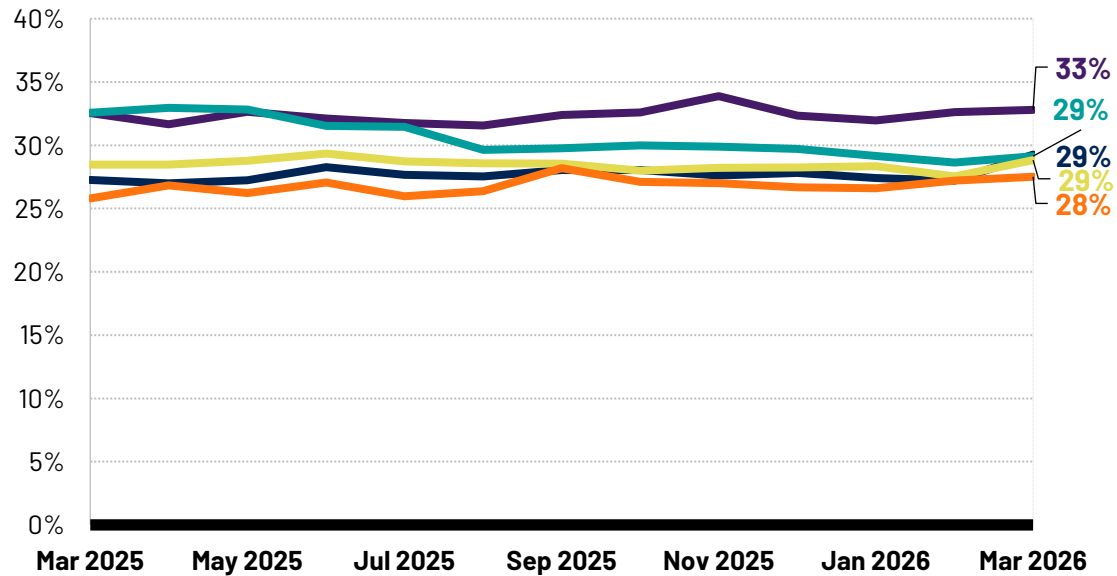
対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェーブ: 2026年3月

世界が懸念していること 12か月間のトレンド

最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。



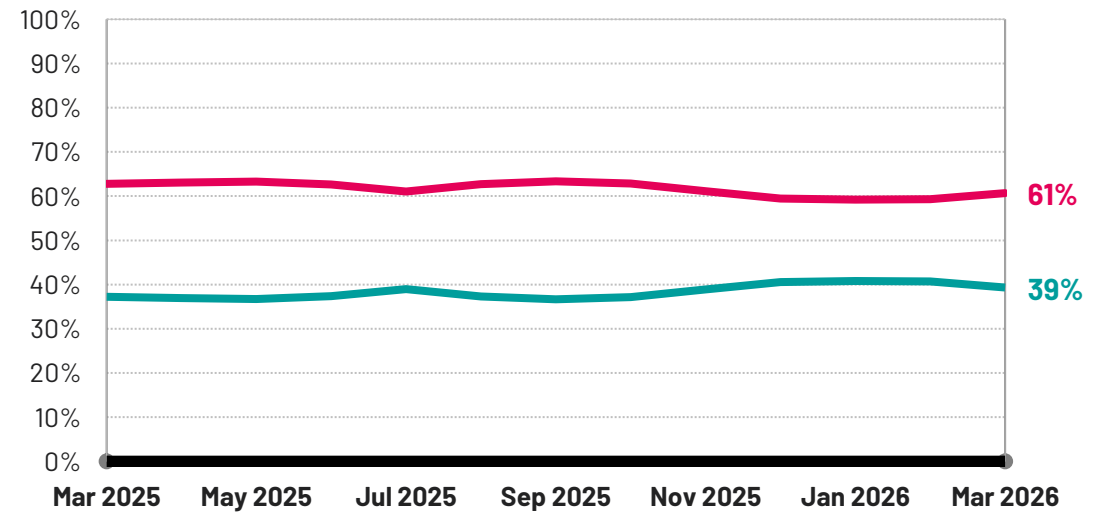
犯罪 失業 インフレ 不平等 汚職

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェーブ: 2026年3月

国の状況

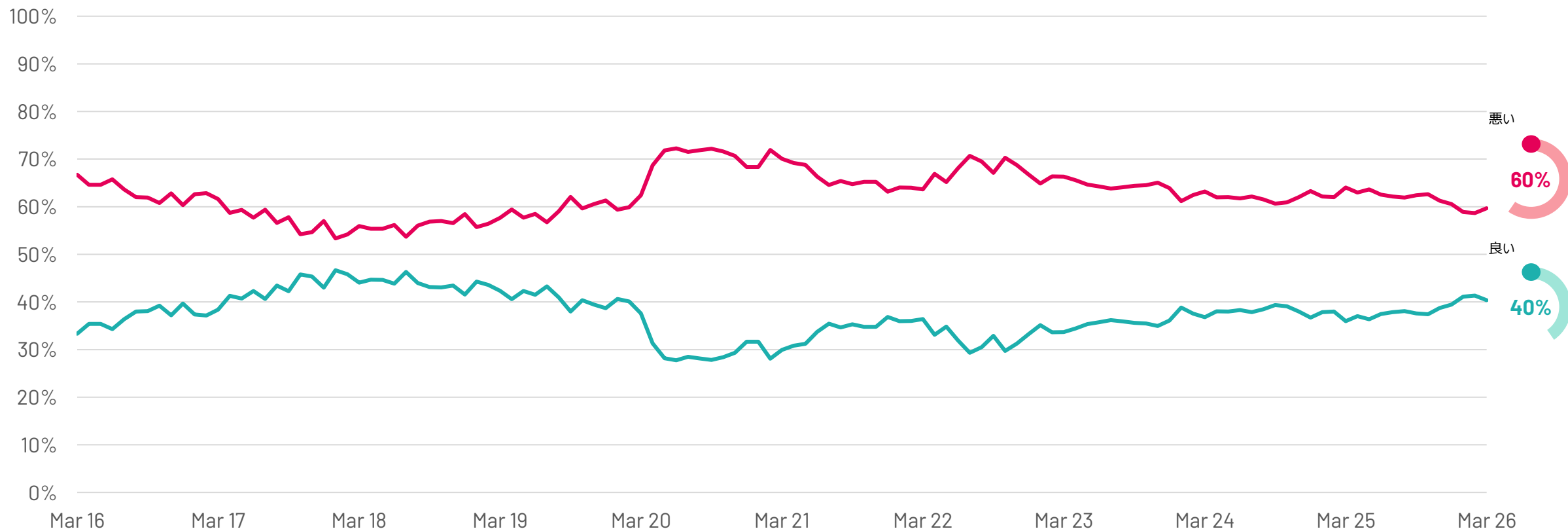
Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



正しい方向 間違った方向

世界経済の現状

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。
(「とても良い」または「やや良い」と「とても悪い」または「やや悪い」の割合)



対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェーブ: 2026年3月

懸念スポットライト: 貧困/社会的な不平等



懸念 スポットライト: 貧困/社会的 不平等

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。

30か国全体で見ると、今月「貧困・社会的不平等」を選択した割合は29%となっています。長期的に見ると、不平等に対する懸念は比較的安定しており、特にパンデミック以降は、おおむね10人中3人前後で推移しています。

しかし、国別に見ると、いくつか際立った国が見られます。

日本は、先進国の中でもジェンダー平等の水準が低い国の一つであり、現在は物価上昇や低出生率といった課題にも直面しています。日本に関する詳細は2月版をご参照ください。今月は3分の1(32%)が不平等を挙げており、最も重要な懸念事

項となっています。男女差は比較的小さく、日本の男性の31%、女性の33%がこれを選択しています。

オランダでも高い懸念水準が見られますが、その背景はやや異なります。オランダはジェンダーや所得の平等性では高い評価を受けている一方で、資産格差の大きさが課題となっています。

次ページへ

29%

(30か国平均)が、貧困/社会的不平等を問題であると答えています。

懸念 スポットライト： 貧困/社会的 不平等

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。

当社のデータによると、オランダの低所得世帯では36%が不平等に懸念を示しており(高所得層では23%)、所得による差が見られます。

興味深いことに、[オランダはEU内でジェンダー平等の順位が5位](#)であるにもかかわらず、不平等に対する懸念には男女差が見られます。オランダの男性では28%が懸念しているのに対し、女性では41%となっています。当社の最新の「[国際女性デー2026](#)」レポートでも同様の傾向が確認されており、男女平等の推進はすでに十分進んでいると考える人の割合は、オランダではほぼ拮抗しています(賛成48%、反対46%)。た

だし、この認識には男女差があり、この見解に賛成する割合は男性で57%と高い一方、女性では38%にとどまっています。

日本では、ジェンダー格差に対する認識がより明確に表れており、「男女平等の推進は十分ではない」と考える人が58%に上ります(「十分である」は28%)。このように考える割合は、29か国中で最も高くなっています。

52%

イプソスの「[国際女性デー2026](#)」レポートによると、「[自国では女性に男性と同等の権利を与えるという点で、すでに十分進んでいる](#)」と考える人の割合は52%となっています。

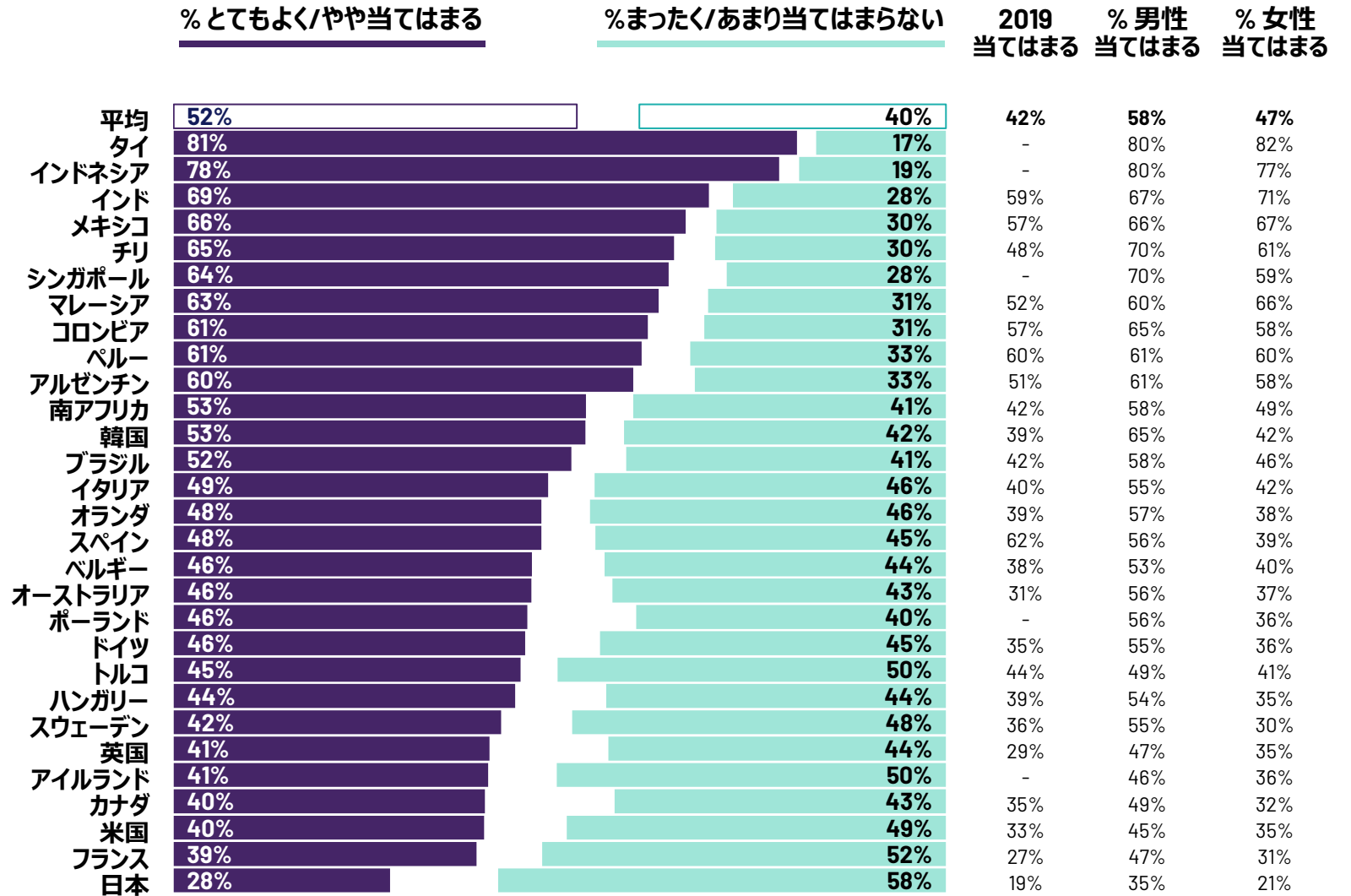
Q

以下に文章をいくつか挙げます。それぞれの文章がご自身のお気持ちにどの程度当てはまるかをお答えください。

女性にも男性と同じ権利を与える取り組みに関しては、我が国では十分すぎるほど対策がなされている



国際女性デー2026レポートは[こちら](#)

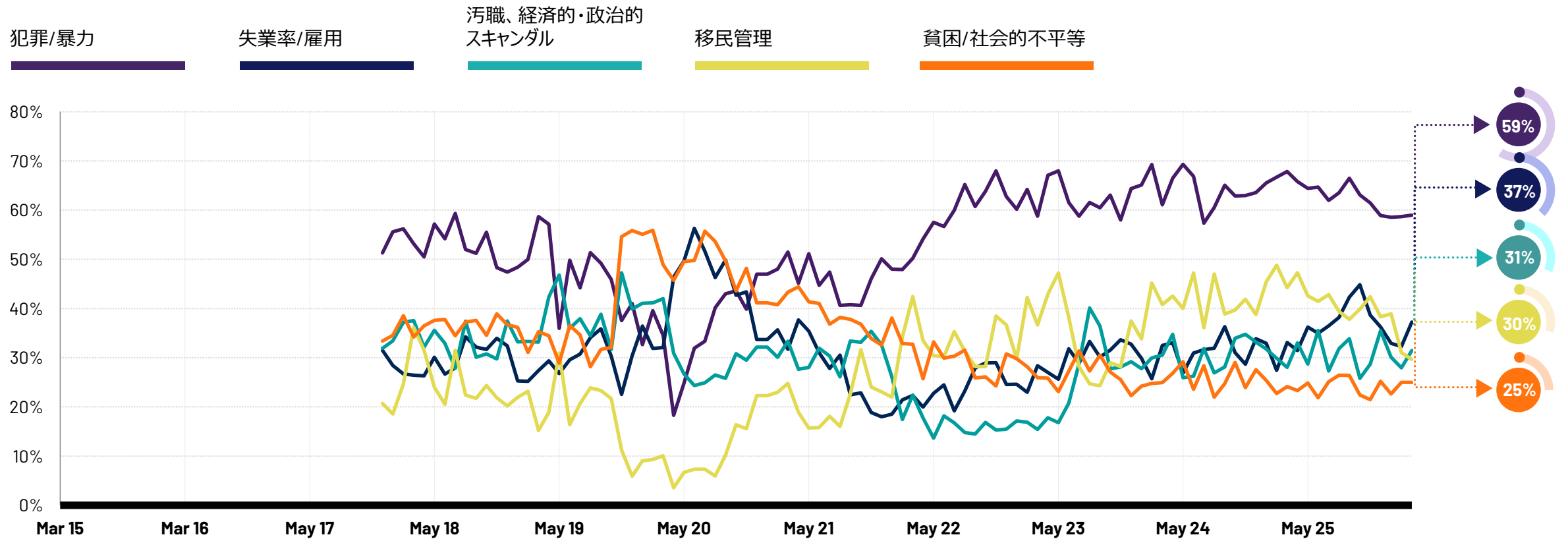


対象: 2025年12月24日～2026年1月9日にかけて、インドでは18歳以上、カナダ、アイルランド共和国、マレーシア、南アフリカ、トルコ、米国では18～74歳、タイでは20～74歳、インドネシアおよびシンガポールでは21～74歳、その他の国では16～74歳の23,268人を対象にオンラインで実施。

国別スポットライト: チリ

チリの懸念トップ5: 長期的トレンド

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。



対象: 16~74歳のチリ国民を対象とした代表性のあるサンプル(毎月約500人)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: チリ | 最新ウェーブ: 2026年3月

国別スポット ライト: チリ

対象(チリ): 16~74歳のチリの国民を対象とした代表性のあるサンプル(毎月約500人、2026年2月27日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。

2025年12月14日、[チリでは新たに José Antonio Kastが大統領に選出](#)されました。これは、1974年から1990年まで政権を担ったAugusto Pinochet Ugarte以来となる右派への転換を示すものです。今回の選挙戦では、安全保障、移民、犯罪が主な争点となりました。

選挙後、「自国は正しい方向に進んでいる」と考えるチリ国民の割合は大きく上昇しました。2025年11月には32%が「正しい方向に進んでいる」と回答していましたが、2026年2月には16ポイント増の48%に上昇し、今月は44%となっています。なお、2026年2月の数値は、2018年10月

(54%)以来の最高水準でした。興味深いことに、米国のように左右で大きな認識差が見られる国とは異なり、チリではその傾向はあまり見られません。右派と自認する人の55%が楽観的であるのに対し、左派でも52%が同様に楽観的です。

また、チリは本調査のラテンアメリカ諸国の中ではやや特異で、移民管理に対する懸念が比較的高い点が特徴です。

[次ページへ](#)

44%

のチリ国民が、自国は正しい方向に進んでいると回答しています。

国別スポット ライト: チリ

今月、チリは30か国中5位となり、3人に1人(30%)が移民に対して懸念を示しています。ラテンアメリカ諸国の中で2番目に懸念が高いのはペルーですが、その割合はわずか9%にとどまっています。選挙後、懸念の水準は2025年11月の42%から今月は30%へと低下しました。

移民管理に対する懸念については、政治的立場による差が見られます。右派では39%が懸念しているのに対し、左派では17%となっています。

一方で、チリがラテンアメリカ諸国と共通しているのは、犯罪/暴力に対する懸念であり、現在は59%に達しています。これはメキシコ(61%)、ペ

ルー(64%)に次いで3番目に高い水準です。この問題に対する懸念は選挙後も低下しておらず、2025年11月時点でも61%となっていました。

犯罪に対する懸念についても、政治的な分断が見られます。右派では74%が懸念しているのに対し、左派では50%となっています。

次ページへ

30%

のチリ国民が移民管理に対する懸念を示しています。

対象(チリ): 16~74歳のチリの国民を対象とした代表性のあるサンプル(毎月約500人、2026年2月27日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。

国別スポット ライト: チリ

対象(チリ):16~74歳のチリの国民を対象とした代表性のあるサンプル(毎月約500人、2026年2月27日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。

チリのイプソスのカンントリーマネージャーであるNicolas Fritisは、次のように述べています。

「チリでは、José Antonio Kastの当選により政治的な転換が起きており、左派寄りの政権から明確な右派政権へと移行しました。これにより、国としての優先課題も再設定されています。犯罪率の上昇は決定的な問題となっており、国民の行動に大きな影響を与えるとともに、選挙における議論の方向性も形作っています。

また、次期大統領であるKast氏が選挙戦の主要テーマとして掲げた不法移民への対応、特に国境管理の

強化策は、社会への影響を懸念する国民の共感を呼びました。

さらに、経済成長と雇用も引き続き重要なテーマであり、持続する失業への懸念の中で、経済拡大と雇用創出の促進に焦点が当てられています。これらの要因が組み合わさることで、チリでは政策の大幅な再調整が進んでおり、近年には見られなかった新たな楽観ムードが生まれています。」

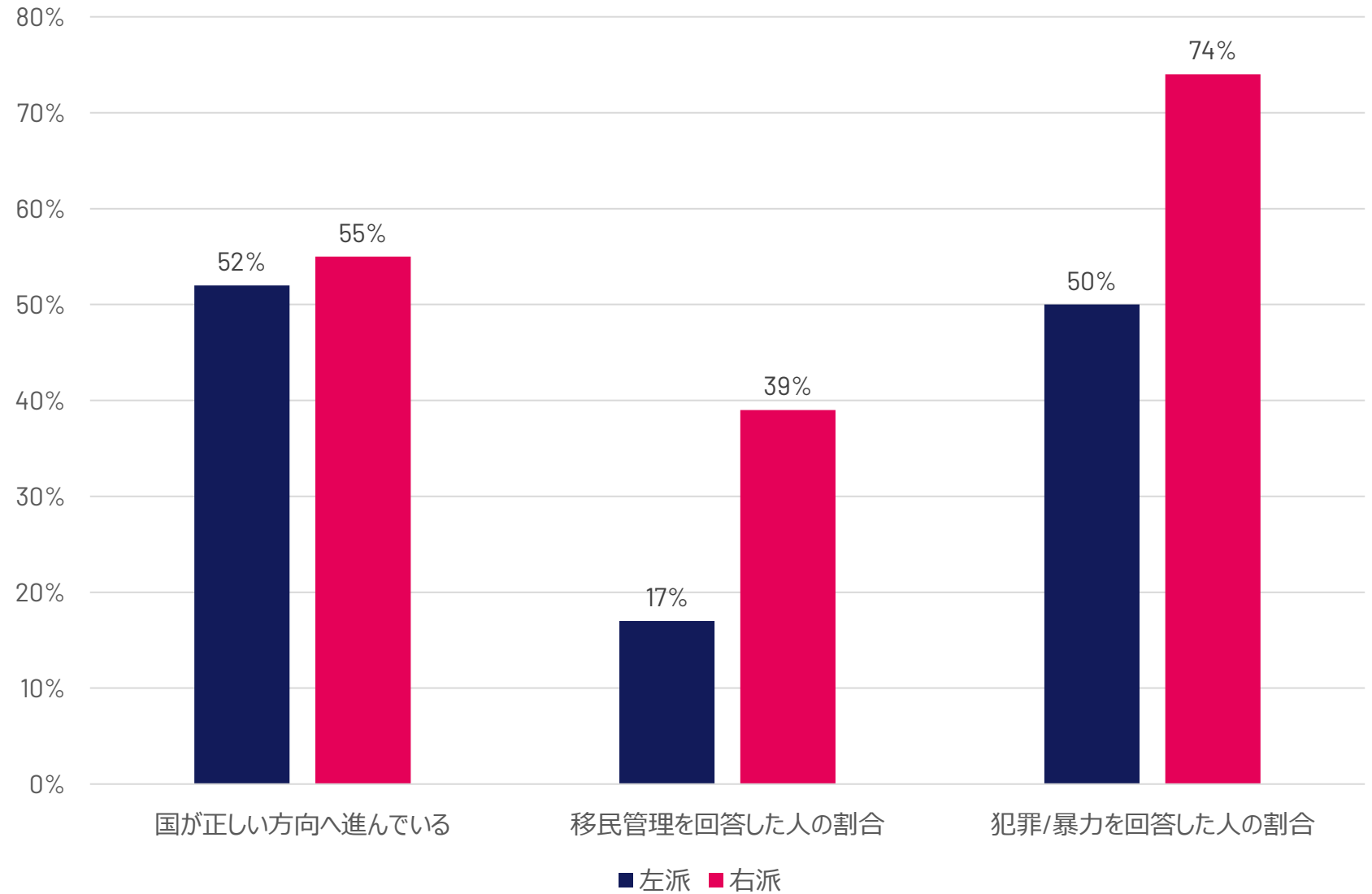


Nicolas Fritis,
Country Manager,
Ipsos in Chile
Nicolas.Fritis@ipsos.com

国別スポット ライト: チリ

対象(チリ):16~74歳のチリの国民を対象とした代表性のあるサンプル(毎月約500人、2026年2月27日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。



各国が進む方向

全対象国

正しい方向/ 間違った方向 モニター

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。

先月は楽観的な見方がやや上昇しましたが、今月3月に「自国は正しい方向に進んでいる」と回答した割合は、わずかに低下して39%となりました。ただし、これは前年同月と比べると数ポイント上昇しています。

なお、米国の実査は2月22日に完了しており、イランへの攻撃の6日前にあたります。同様に、他にも攻撃前に調査を完了した国が複数ある点にご留意ください。

一般的に、大きなショックの直後には懸念事項に変化が見られ、その後の数か月でもさらなる変化が続く傾向があります(例えば、パンデミックやウクライナ侵攻など)。

来月号では、この戦争による波及効果が見られるかどうかを詳しく検証する予定です。

それまでの間は、世界の人々がこの紛争およびその影響をどのように捉えているかについての最新情報を、[イラン紛争に関するウェブページ](#)にてご確認ください。

39%

(30か国平均)が、自国は「正しい方向に進んでいる」と回答しています。

正しい方向/ 間違った方向 モニター

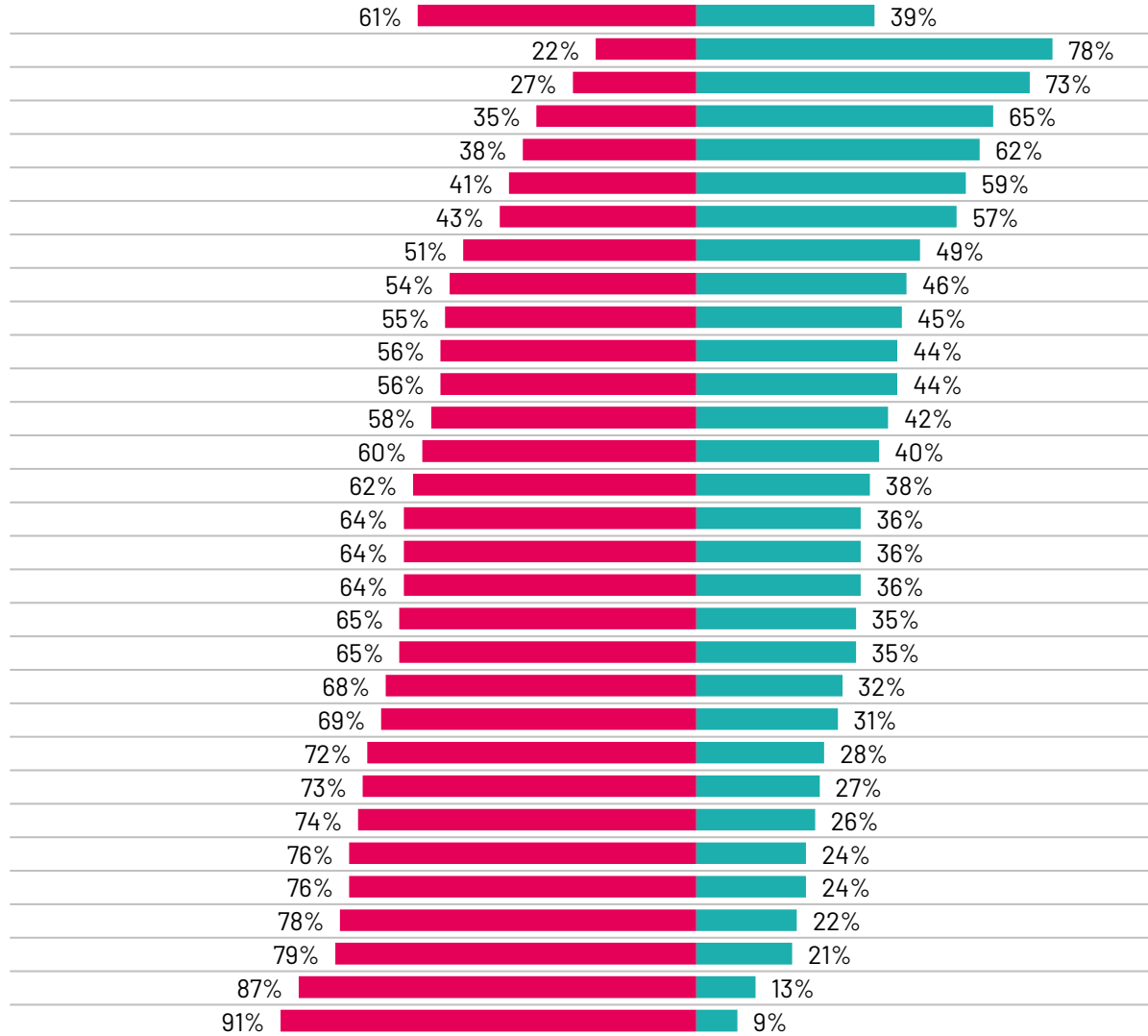
対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。**フィルター:** 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

国

世界平均
シンガポール
マレーシア
インド
韓国
タイ
インドネシア
アルゼンチン
カナダ
コロンビア
チリ
オーストラリア
日本
ポーランド
アイルランド
米国
スペイン
メキシコ
スウェーデン
ブラジル
ベルギー
イスラエル
トルコ
イタリア
オランダ
南アフリカ
ハンガリー
英国
ドイツ
ペルー
フランス

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。(2026年3月)



正しい方向

間違った方向

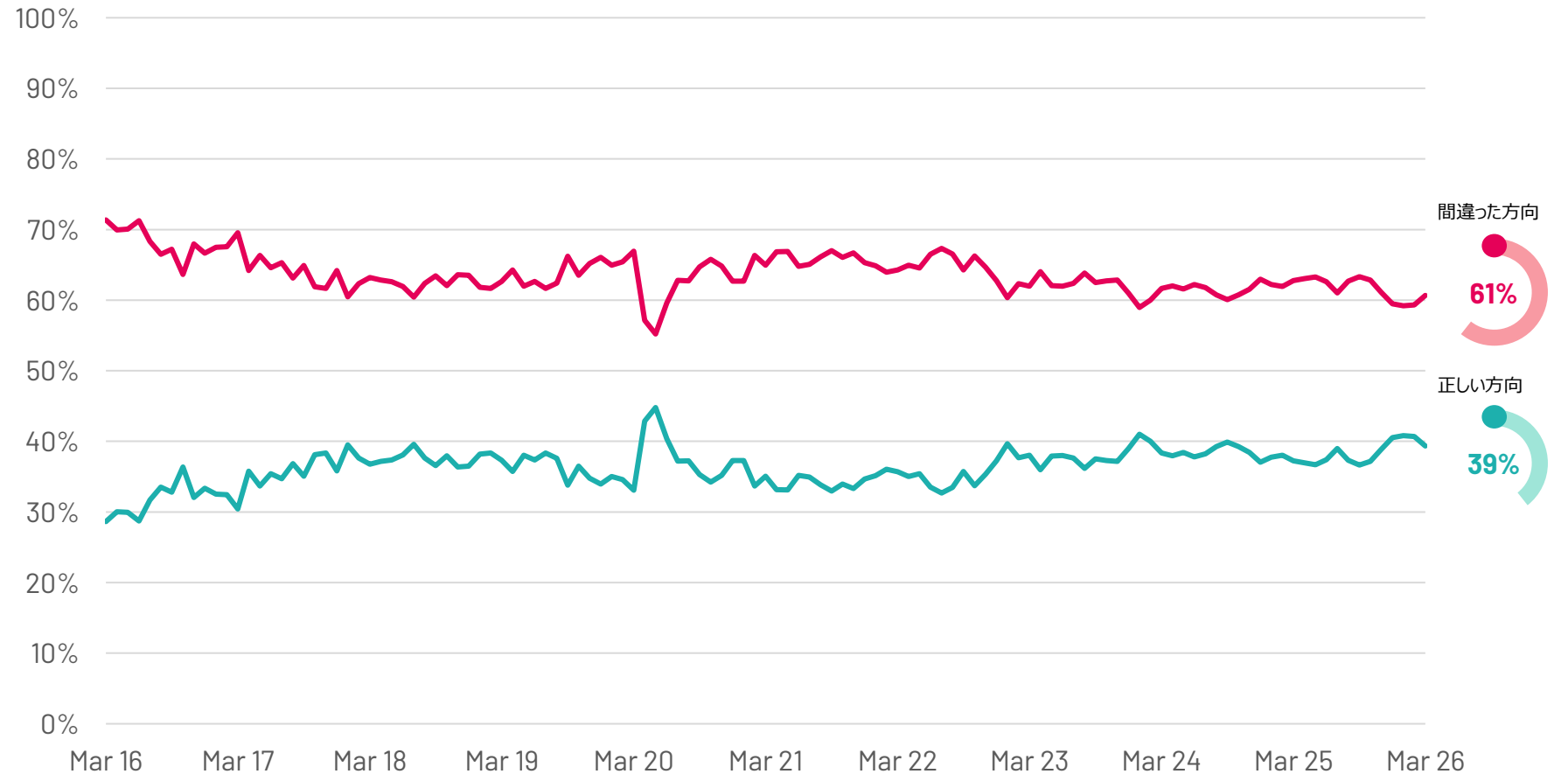
世界の正しい/ 間違った方向

世界各国の平均スコア

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



世界が懸念していることは？

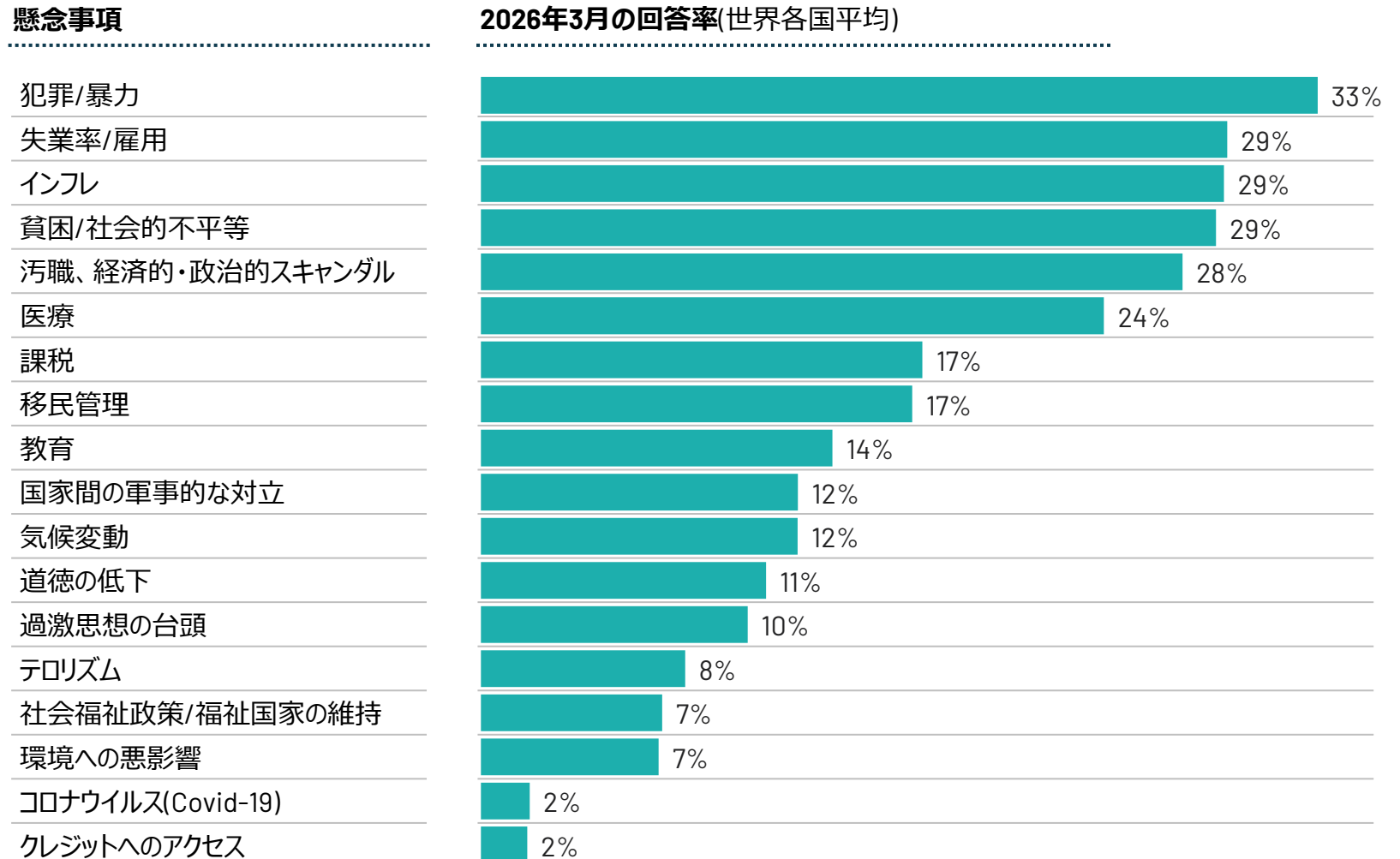
ランキング上位の懸念事項

世界の懸念事項: 全リスト

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

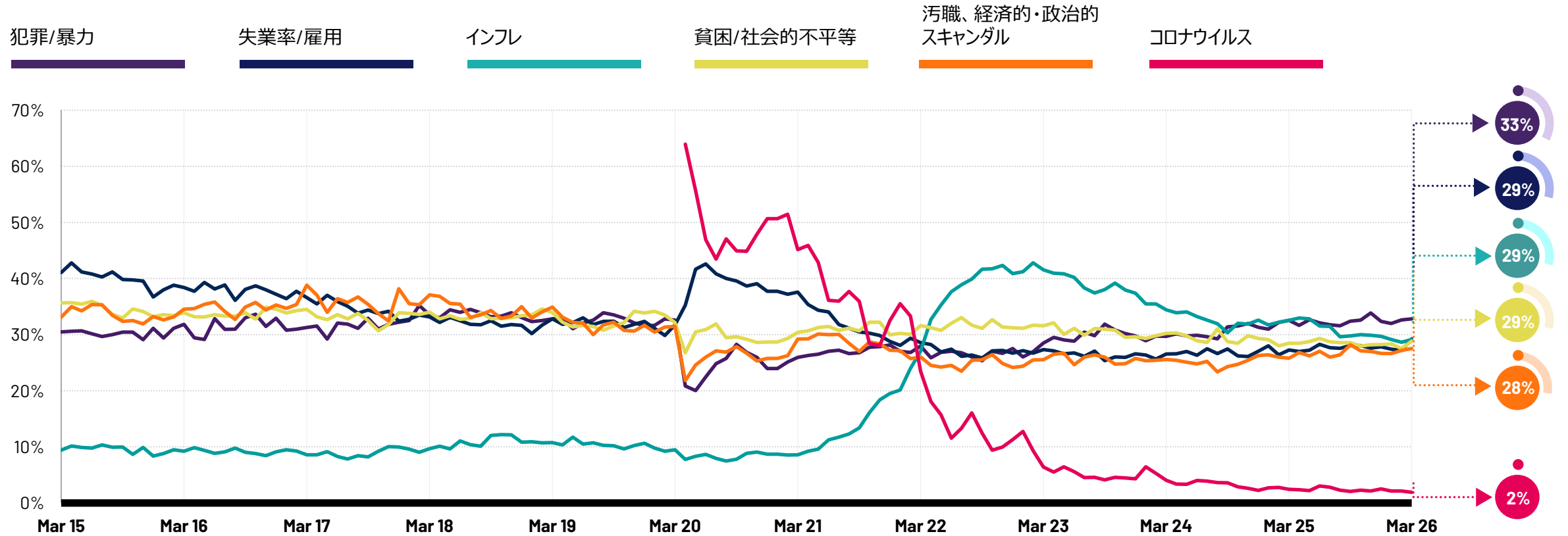
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。



世界の懸念: 長期的トレンド

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。世界各国平均



対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェーブ: 2026年3月

1. 犯罪/暴力

30か国全体で犯罪/暴力を挙げる割合は33%で、前月から変化はありません。2025年7月以降、9か月連続で最も大きな懸念事項となっています。

犯罪を最も重要な問題とする国は8か国で、前月から変化はありません。コロンビアは、懸念が6ポイント低下して37%となったため、このリストから外れました。一方、イスラエルでは、選択率が2月から5ポイント上昇して45%となり、最も大きな懸念事項となりました。この水準は、10月7日の攻撃以前の水準に近づいており、2023年10月には50%を記録しています。

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。

33%

が、**犯罪と暴力**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

犯罪と暴力が最大の懸念事項となっている国:

- ペルー (62%)
- ブラジル (48%)
- メキシコ (61%)
- イスラエル (45%)
- チリ (59%)
- フランス (38%)
- スウェーデン (58%)
- イタリア (38%)

1. 犯罪/暴力

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

国	犯罪と暴力を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界平均	33%	=	=
ペルー	64%	-2	-1
メキシコ	61%	+3	+3
チリ	59%	=	-9
スウェーデン	58%	-1	+1
南アフリカ	56%	+3	+3
ブラジル	48%	-1	+5
イスラエル	45%	+5	+12
イタリア	38%	+1	+8
フランス	38%	-2	-2
コロンビア	37%	-6	-5
アルゼンチン	37%	-9	-15
トルコ	36%	=	+5
オーストラリア	34%	+1	-1
マレーシア	32%	+3	+6
ドイツ	32%	+2	+1
アイルランド	30%	+4	-5
ベルギー	28%	-3	-3
インド	27%	=	+1
米国	23%	-3	+1
英国	23%	+1	-5
タイ	23%	-1	-5
オランダ	22%	-5	-2
インドネシア	20%	+3	+3
カナダ	20%	=	+2
日本	19%	+1	=
韓国	19%	+3	+5
スペイン	19%	+1	+2
ハンガリー	15%	+5	+5
ポーランド	13%	+1	+1
シンガポール	7%	-2	-4

2. 失業率/雇用

30か国全体で失業に対する懸念は2ポイント(pp)上昇して29%となり、同じく29%であった2022年2月以来の最高水準となっています。30か国中18か国で、前月から何らかの増加が見られました。また、この水準はインフレおよび不平等と並び、2番目に高い水準となっています。

アルゼンチンでは、政府が史上最大規模の労働改革の一部を承認する見込みであり、2月19日には抗議活動が発生しました。同国では前月比で最も大きな上昇が見られ、13ポイント増の5分の3(60%)に達しています。これは過去10年間で最高の水準です。

また、アジア太平洋地域やヨーロッパの各国でも、懸念水準の上昇が確認されています。

29%

が、**失業率と雇用**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

失業率と雇用が最大の懸念事項となっている国：

- 南アフリカ(66%)
- アルゼンチン(60%)
- 韓国(49%)

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。

2. 失業率/雇用

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

国	失業率と雇用を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界平均	29%	+2	+2
南アフリカ	66%	-2	-1
アルゼンチン	60%	+13	+17
インドネシア	52%	+2	-3
シンガポール	50%	+4	+4
韓国	49%	+4	+3
インド	40%	+4	+8
チリ	37%	+5	+4
コロンビア	36%	-1	-3
メキシコ	36%	+4	+3
スウェーデン	33%	+4	+9
イタリア	32%	+4	=
ポーランド	30%	+8	+9
マレーシア	29%	+3	-1
カナダ	28%	-1	+6
ベルギー	28%	+1	+11
スペイン	27%	-1	-8
ペルー	27%	-1	-8
トルコ	26%	=	+1
英国	23%	+5	+9
タイ	22%	-1	-7
オーストラリア	19%	+2	-1
米国	18%	+1	+1
アイルランド	18%	-3	+2
ハンガリー	16%	+2	=
日本	16%	+2	=
ブラジル	15%	=	-2
ドイツ	13%	-1	+4
イスラエル	13%	+4	+3
フランス	12%	-1	=
オランダ	7%	=	+1

3. インフレ

30か国全体でインフレを挙げる割合は29%で、失業および不平等と並ぶ水準となっています。これは前年同時期と比べて4ポイント低い水準です。なお、前回エネルギー危機が発生した際(ウクライナ戦争発生後の2022年2月)には、インフレへの懸念は徐々に上昇し、最終的には2023年2月に43%とピークに達しました。これは危機発生からほぼ1年後のことです。

北米では、2月から懸念水準の上昇が見られます。米国では、物価上昇を問題とする割合が前月から6ポイント上昇して38%となりました。依然として高い水準ではあるものの、

前年3月と比べると5ポイント低くなっています。なお、この調査は原油価格が急騰する前に実施された点にご留意ください。

カナダでは、懸念は2月からわずかに上昇して49%となり、2025年3月と比べてもやや高い水準となっています。ただし、2025年4月には53%を記録しています。

インフレが最大の懸念事項となっている国:

- シンガポール (56%)
- トルコ (51%)
- カナダ (49%)
- インド (47%)
- オーストラリア (43%)
- 米国 (38%)

29%

が、**インフレ**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。

3. インフレ

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

国	インフレを懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界平均	29%	=	-4
シンガポール	56%	-3	-2
トルコ	51%	+5	-3
カナダ	49%	+2	+1
インド	47%	=	+11
オーストラリア	43%	+4	-1
韓国	40%	+2	-1
米国	38%	+6	-5
アイルランド	37%	+6	+4
アルゼンチン	36%	+7	+4
日本	31%	-1	-1
ハンガリー	30%	-6	-21
メキシコ	29%	=	-6
ドイツ	28%	+1	+1
マレーシア	28%	=	-7
スペイン	28%	+2	-1
英国	27%	-1	-5
フランス	26%	-7	-5
ポーランド	25%	=	-16
イタリア	23%	+1	-3
タイ	23%	=	-3
ベルギー	22%	=	-5
ブラジル	22%	+1	-16
チリ	22%	+2	-5
コロンビア	19%	+1	+1
南アフリカ	17%	-1	-6
スウェーデン	16%	+2	-4
インドネシア	16%	-9	-1
オランダ	16%	-1	-5
ペルー	15%	+3	-1
イスラエル	12%	-3	-4

4. 貧困/社会的 不平等

30か国全体で貧困/社会的不平等を挙げる割合は、わずかに上昇して29%となり、インフレおよび失業と並ぶ水準となっています。30か国中17か国で、前月から何らかの懸念の高まりが見られました。

オランダでは、不平等に対する懸念が前月から10ポイントと大きく上昇し、35%となっています。これは前年同時期と比べて6ポイント高い水準です。ただし、過去12か月での最高値ではなく、2025年5月にも同じく35%を記録しています。

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。

29%

が、**貧困と社会的不平等**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

貧困と社会的不平等が最大の懸念事項となっている国:

- オランダ(35%)
- 日本(32%)

4. 貧困/社会的 不平等

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

国

貧困と社会的な不平等を懸念していると回答した人の割合

国	割合	前月からの 変化	12か月間 の変化
世界平均	29%	+1	+1
インドネシア	50%	+6	-1
アルゼンチン	44%	+4	+1
ハンガリー	43%	+2	+7
トルコ	38%	+1	=
ブラジル	36%	+2	+2
タイ	35%	+2	-2
オランダ	35%	+10	+6
ペルー	34%	+1	+2
南アフリカ	33%	=	-2
ドイツ	33%	+3	=
日本	32%	=	-4
コロンビア	28%	+1	-5
ベルギー	28%	-2	+3
イタリア	27%	+3	-1
英国	27%	+1	+2
フランス	26%	+1	+1
オーストラリア	26%	+4	+2
アイルランド	25%	-2	=
チリ	25%	=	+1
メキシコ	25%	-1	-4
マレーシア	24%	=	-4
韓国	24%	+4	+2
スペイン	24%	-2	=
スウェーデン	24%	-1	+4
カナダ	24%	=	=
イスラエル	22%	+3	-2
ポーランド	19%	-1	+1
シンガポール	19%	+6	=
インド	19%	-3	+1
米国	18%	=	=

5. 汚職、経済的・政治的スキャンダル

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。

30か国全体で汚職、経済的・政治的スキャンダルを挙げる割合は、わずかに上昇して28%となっています。

今月は、汚職に対する懸念がいくつかの国で新たな節目に達しています。特に米国では、懸念の水準がわずかに上昇して33%となりました。この数値は、同国にとって過去10年間で最高水準です。また、前月以降、インフレに次いで2番目に大きな問題となっています。

同様に、ブラジルでも懸念の水準が2月からわずかに上昇して42%となり、2019年4月(同じく42%)以来の最高水準となっています。

汚職、経済的・政治的スキャンダルが最大の懸念事項となっている国:

- インドネシア(68%)・ スペイン(34%)
- タイ(54%)
- マレーシア(49%)

28%

が、**汚職、経済的・政治的スキャンダル**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

5. 汚職、経済的・政治的スキャンダル

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

国	汚職、経済的・政治的スキャンダルを懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界平均	28%	+1	+2
インドネシア	68%	+8	+1
ペルー	54%	=	+3
タイ	54%	+7	+15
ハンガリー	52%	+2	+8
南アフリカ	49%	+2	+8
マレーシア	49%	=	-5
ブラジル	42%	+2	+14
コロンビア	37%	+1	-2
スペイン	34%	-5	+6
米国	33%	+2	+4
韓国	32%	=	-11
チリ	31%	+3	+3
イスラエル	30%	-5	-1
メキシコ	29%	-3	+6
インド	26%	-1	+6
トルコ	26%	-4	=
アルゼンチン	24%	-2	-3
ポーランド	22%	-2	+1
英国	15%	+5	+5
オーストラリア	15%	+4	+5
ベルギー	13%	-1	=
フランス	13%	+4	+2
イタリア	13%	+1	+1
日本	12%	-2	-10
アイルランド	12%	-1	=
カナダ	12%	=	-2
ドイツ	10%	=	+3
スウェーデン	8%	=	-1
シンガポール	5%	-2	-2
オランダ	5%	-3	-2

6. 医療

今月、30か国全体で医療を挙げる割合は24%となっています。

コロンビアでは、2月下旬に医療を受ける金銭的余裕がなかった両親のもとで幼い少年が亡くなったことをきっかけに、医療制度に対する国民の不満が高まっています。同国では、懸念を示す人の割合が前月比で最も大きく増加し、6ポイント上昇して40%となりました。これは前年3月と比べて12ポイント高く、2021年3月に本レポートの対象に加わって以来の最高水準です。

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。

医療が最大の懸念事項となっている国:

- ハンガリー (62%)
- ポーランド (45%)
- アイルランド (42%)
- コロンビア (40%)
- 英国 (38%)

24%

が、**医療**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

6. 医療

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

国	医療を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界平均	24%	-1	=
ハンガリー	62%	+3	-1
ポーランド	45%	-3	+6
カナダ	42%	-1	-4
アイルランド	42%	+1	-4
コロンビア	40%	+6	+12
英国	38%	+1	-4
イタリア	36%	=	-1
シンガポール	35%	-3	+7
ブラジル	35%	-3	+3
オランダ	34%	+5	+2
スペイン	33%	-1	=
米国	27%	+2	+4
フランス	27%	+1	+1
オーストラリア	27%	+2	-7
ドイツ	22%	+1	+6
スウェーデン	21%	-4	+5
メキシコ	19%	=	=
ベルギー	19%	-2	=
チリ	17%	-2	+5
ペルー	17%	-2	+2
南アフリカ	14%	-1	-2
インド	13%	=	-1
アルゼンチン	12%	-4	-4
日本	12%	-2	-2
マレーシア	11%	-2	+1
イスラエル	9%	+1	+1
トルコ	7%	+2	+2
タイ	7%	-1	-3
インドネシア	6%	+1	-1
韓国	5%	-1	-8

7. 課税

30か国全体で税金を挙げる割合は17%で、前月から変化はありません。

オランダでは、税金を挙げる人の割合が前月から6ポイント上昇して5分の1(21%)となっています。これは2025年3月と比べて7ポイント高いだけでなく、2019年10月に本調査の対象に加わって以来の最高水準でもあります。

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。

課税が最大の懸念事項となっている国:

- ベルギー (35%)

17%

が、**課税**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

7. 課税

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

国	課税を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界平均	17%	=	-1
ベルギー	35%	+2	-1
日本	29%	+1	-6
カナダ	28%	+2	+1
ブラジル	28%	+1	=
イタリア	27%	=	-2
フランス	21%	-2	=
インド	21%	=	+3
トルコ	21%	+3	+3
オランダ	21%	+6	+7
スペイン	20%	-1	-2
英国	19%	-3	-5
ポーランド	18%	+1	-3
アイルランド	17%	+1	+1
オーストラリア	17%	+1	+2
イスラエル	17%	-4	-6
米国	17%	+1	-1
シンガポール	16%	+1	-4
メキシコ	16%	-4	+2
韓国	16%	-3	+4
ドイツ	15%	-1	+4
インドネシア	15%	+4	+3
コロンビア	14%	-2	+2
アルゼンチン	13%	-2	-3
マレーシア	13%	-2	=
タイ	12%	+3	+1
スウェーデン	10%	+1	-1
南アフリカ	7%	=	-7
ハンガリー	7%	-2	=
チリ	7%	-2	-2
ペルー	3%	=	-1

8. 移民管理

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。

30か国全体で移民管理を挙げる割合は17%で、前月から変化はありません。

オーストラリアでは、懸念の水準が前月から3ポイント上昇し、28%が懸念していると回答しています。これは同国にとって新たな節目であり、前年同時期より11ポイント高く、2019年3月(同じく28%)以来の最高水準となっています。

同様に、南アフリカでも懸念を示す人の割合が新たな高水準に達しています。前月からわずかに増加して19%となり、2025年3月と比べて10ポイント高い水準です。なお、2025年12月には21%を記録しており、こ

れは同国における過去10年間で最高の数値でした。

移民管理が最大の懸念事項となっている国:

- ドイツ(33%)

17%

が、**移民管理**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

8. 移民管理

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

国	移民管理を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界平均	17%	=	-1
アイルランド	37%	+4	-2
英国	36%	-4	+4
ドイツ	33%	=	-8
オランダ	30%	-1	+3
チリ	30%	-1	-14
オーストラリア	28%	+3	+11
スペイン	27%	+3	+1
フランス	24%	=	-3
カナダ	24%	=	+1
日本	24%	-1	+9
米国	21%	-5	-4
ベルギー	21%	=	-4
スウェーデン	21%	+1	+2
シンガポール	20%	+3	+6
南アフリカ	19%	+1	+10
イタリア	19%	+1	-2
ポーランド	17%	+1	-7
トルコ	17%	+1	-7
マレーシア	12%	-1	-1
ペルー	9%	-3	-2
ハンガリー	6%	+1	+1
タイ	5%	-3	-8
コロンビア	5%	+1	-4
メキシコ	4%	=	-5
アルゼンチン	4%	-1	+1
インド	4%	+1	-5
イスラエル	4%	-1	+1
韓国	2%	=	=
インドネシア	1%	-1	-1
ブラジル	1%	=	=

9. 教育

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

国	教育を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界平均	14%	=	=
アルゼンチン	30%	-3	-4
インド	30%	-1	+5
ペルー	22%	-4	-7
イスラエル	22%	=	+3
トルコ	22%	+3	-2
ブラジル	22%	=	+2
チリ	21%	=	+6
メキシコ	18%	-2	-2
ハンガリー	17%	-2	-5
コロンビア	16%	+1	+4
ベルギー	16%	-1	+4
インドネシア	15%	-1	-4
マレーシア	14%	-8	+2
フランス	13%	+1	+1
オランダ	13%	+6	+3
南アフリカ	12%	-2	-1
スペイン	12%	=	-1
スウェーデン	9%	+2	+3
カナダ	9%	=	-1
米国	9%	+2	-1
英国	8%	=	=
シンガポール	8%	+1	+1
イタリア	8%	=	=
ドイツ	8%	-2	=
アイルランド	7%	=	=
タイ	7%	-3	-2
ポーランド	7%	+1	=
オーストラリア	7%	=	-2
韓国	5%	-3	=
日本	5%	-1	=

10. 国家間の軍事的な対立

実査は2月20日から3月6日にかけて実施されました。イランでの紛争は2月28日に開始しています(米国とイスラエルによる攻撃が発端)。

本調査においては、2月28日以前に実査を完了した国もあれば、それ以降に完了した国もあります。そのため、結果は現在の意識を必ずしも反映していない可能性があります。

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。

国家間の軍事的な対立が最大の懸念事項となっている国:

なし

12%

が、**国家間の軍事的な対立**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

10. 国家間の軍事的な対立

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

国	国家間の軍事的な対立を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界平均	12%	-1	+1
ポーランド	37%	-1	+5
イスラエル	35%	+10	+2
タイ	29%	-4	+21
ドイツ	23%	-5	-4
日本	21%	-2	+10
オランダ	20%	-10	-5
ベルギー	18%	+4	=
スウェーデン	18%	-5	-9
フランス	17%	-4	+2
韓国	15%	+2	+6
英国	13%	-8	-2
イタリア	12%	-4	-2
米国	12%	-2	+2
シンガポール	10%	+1	+3
ハンガリー	9%	+1	+3
マレーシア	9%	+6	+4
カナダ	8%	-4	=
アイルランド	8%	-2	=
オーストラリア	7%	-2	-4
コロンビア	7%	-1	+1
スペイン	7%	-1	-2
インド	7%	=	=
チリ	5%	+3	+3
メキシコ	5%	-2	+1
インドネシア	5%	=	+4
ブラジル	4%	+1	+2
アルゼンチン	4%	+2	+2
南アフリカ	3%	=	-2
トルコ	2%	=	=
ペルー	2%	-1	=

11. 気候変動

30か国全体で気候変動を挙げる割合は12%となっています。これは、2021年6月(11%)以来の最低水準です。

今月、最も懸念が高いのは日本で、28%となっており、2月から6ポイント上昇しています。これは前年3月と比べて5ポイント高い水準ですが、過去12か月での最高値ではなく、2025年9月には33%を記録しています。

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。

12%

が、**気候変動**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

気候変動が最大の懸念事項となっている国:

なし

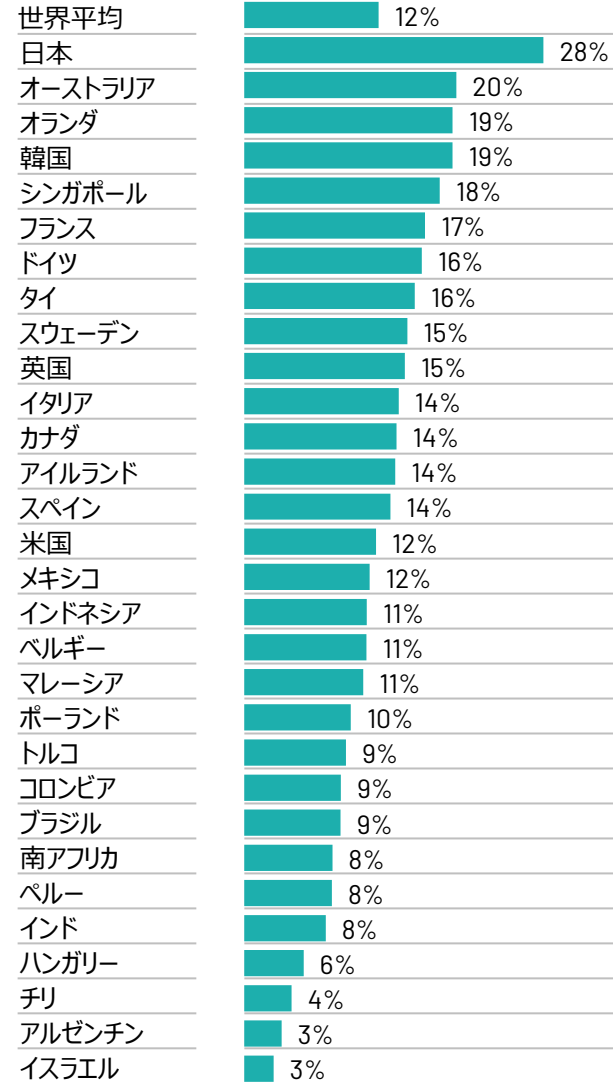
11. 気候変動

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

国

気候変動を懸念していると回答した人の割合



前月からの 変化	12か月間 の変化
-1	-2
+6	+5
-2	-2
-5	-3
-1	+3
-5	-6
+1	-3
-1	-6
=	-6
=	-2
+4	=
-6	-2
+1	-3
-2	-1
+2	-4
=	-2
+1	-3
-10	=
+1	-6
+2	+1
+1	-4
-3	+2
=	+1
-1	-6
+1	-1
+4	+1
+2	-3
-1	-2
-3	-3
-1	=
=	+2

12. 道徳の低下

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

国	道徳の低下を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界平均	11%	=	+1
米国	22%	+3	+5
オランダ	19%	=	+1
韓国	17%	=	-2
マレーシア	16%	-1	=
イスラエル	16%	-5	+5
タイ	15%	+2	-3
フランス	15%	+4	+3
日本	14%	=	-1
ハンガリー	13%	+2	+4
英国	13%	+1	+3
ポーランド	13%	+3	+3
ドイツ	12%	=	=
アルゼンチン	12%	+3	+4
トルコ	11%	-1	+1
イタリア	10%	-2	=
ベルギー	10%	-2	+3
アイルランド	10%	+2	+2
ペルー	10%	+3	+4
スウェーデン	10%	+3	=
インドネシア	9%	-4	-3
オーストラリア	9%	=	=
シンガポール	9%	+1	=
カナダ	8%	=	=
スペイン	7%	-1	=
メキシコ	7%	+2	+2
チリ	6%	+1	+1
コロンビア	5%	-2	-1
ブラジル	5%	+1	+1
インド	5%	-1	-5
南アフリカ	5%	+2	+2

13. 過激思想の台頭

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

国	過激思想の台頭を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界平均	10%	-1	=
フランス	21%	+5	+6
オランダ	20%	-3	-1
ドイツ	20%	=	-3
英国	18%	-2	+5
オーストラリア	18%	-3	+3
スペイン	18%	=	+4
ポーランド	18%	+2	+6
米国	18%	-2	=
イスラエル	17%	=	-4
韓国	16%	+2	-6
ベルギー	13%	-3	-2
スウェーデン	13%	-2	-1
マレーシア	13%	+3	-1
アイルランド	12%	-2	=
イタリア	11%	+2	+2
カナダ	8%	-3	-4
ブラジル	8%	=	-1
日本	7%	=	+3
ハンガリー	6%	+2	+2
チリ	6%	-2	=
トルコ	5%	=	+1
コロンビア	5%	=	+1
インド	5%	=	-5
シンガポール	5%	-1	=
ペルー	4%	+2	+2
タイ	3%	-1	=
メキシコ	3%	-1	=
インドネシア	2%	+1	+1
アルゼンチン	1%	-3	-2
南アフリカ	1%	-1	=

14. テロリズム

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

国	テロリズムを懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界平均	8%	=	-1
イスラエル	32%	-11	-20
コロンビア	22%	+2	-2
インド	21%	+3	+4
メキシコ	17%	+8	+9
ペルー	13%	+2	+3
トルコ	12%	-1	-3
マレーシア	11%	+3	+4
スウェーデン	10%	=	-5
フランス	9%	-1	-4
チリ	8%	=	+2
ドイツ	8%	-2	-5
オーストラリア	8%	-5	+3
米国	7%	-2	-2
ベルギー	7%	+1	-4
タイ	7%	-2	+2
英国	6%	-2	-2
シンガポール	5%	-2	-2
オランダ	5%	-1	-3
イタリア	4%	=	-1
ポーランド	4%	-2	-1
アイルランド	4%	+1	=
韓国	3%	+1	+2
カナダ	2%	-1	=
インドネシア	2%	=	=
ハンガリー	2%	+1	+1
南アフリカ	2%	=	+2
スペイン	2%	-1	-1
日本	2%	=	-1
ブラジル	2%	=	+1
アルゼンチン	1%	-2	-2

15. 社会福祉政策 /福祉国家の維持

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

国	社会福祉政策/福祉国家の維持を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界平均	7%	=	=
スウェーデン	18%	=	+2
日本	17%	+2	-1
オランダ	15%	+4	+8
韓国	12%	-4	=
スペイン	11%	+2	+2
チリ	11%	-2	+7
インドネシア	10%	+2	-2
イタリア	9%	+1	+2
タイ	9%	=	+1
アイルランド	8%	-1	+2
ドイツ	8%	+1	-1
英国	7%	+1	-2
ベルギー	7%	=	+1
オーストラリア	6%	-1	-1
米国	6%	+1	-2
シンガポール	6%	=	=
ハンガリー	6%	-2	+1
フランス	5%	=	+1
イスラエル	5%	+2	+2
メキシコ	5%	-2	-2
ブラジル	5%	+3	+2
カナダ	4%	-2	-1
ポーランド	4%	-2	-1
マレーシア	4%	-1	-2
インド	3%	-2	-4
コロンビア	3%	-3	-1
ペルー	3%	+1	+2
アルゼンチン	3%	=	-1
南アフリカ	2%	-1	=
トルコ	2%	-1	+1

16. 環境への悪影響

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

国	環境への悪影響を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界平均	7%	=	=
オランダ	13%	+1	+1
スウェーデン	11%	+1	=
マレーシア	10%	=	+2
ブラジル	10%	=	-3
インドネシア	10%	-3	+5
フランス	8%	+1	-2
韓国	8%	-1	=
インド	8%	-2	-3
日本	8%	+2	+1
ポーランド	8%	+1	=
オーストラリア	8%	-1	+1
ベルギー	7%	=	-2
ドイツ	7%	+1	-1
メキシコ	7%	=	-1
ペルー	7%	+1	-2
米国	7%	-1	=
イスラエル	7%	+4	+1
シンガポール	7%	-1	-1
イタリア	6%	-2	-1
タイ	6%	-3	-3
カナダ	6%	+1	-1
アイルランド	6%	+1	+1
チリ	6%	+1	+1
スペイン	6%	+2	-1
英国	5%	=	-1
コロンビア	5%	-2	-6
アルゼンチン	5%	-3	+2
トルコ	4%	+1	=
ハンガリー	3%	=	=
南アフリカ	1%	-1	-1

17. コロナウイルス (Covid-19)

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

国	コロナウイルス(Covid-19)を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界平均	2%	=	=
マレーシア	6%	=	=
シンガポール	5%	+1	=
タイ	4%	=	-3
トルコ	4%	-1	+1
インドネシア	4%	+2	+2
インド	3%	-1	-3
メキシコ	2%	=	-1
米国	2%	-1	=
ドイツ	2%	+1	+1
日本	2%	=	-2
ベルギー	2%	=	=
韓国	2%	+1	-1
アイルランド	2%	-1	+1
ポーランド	2%	-1	=
イスラエル	1%	-1	=
南アフリカ	1%	+1	=
コロンビア	1%	-1	=
チリ	1%	=	+1
オランダ	1%	=	=
アルゼンチン	1%	=	+1
スペイン	1%	=	=
ブラジル	1%	-1	-3
オーストラリア	1%	-1	-2
スウェーデン	1%	=	=
カナダ	1%	=	-1
ペルー	1%	-1	-1
ハンガリー	1%	-1	-1
フランス	1%	-1	=
イタリア	0%	-1	-1
英国	0%	-1	-2



18. クレジットへのアクセス

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

国	クレジットへのアクセスを懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界平均	2%	=	=
シンガポール	5%	+2	+2
コロンビア	3%	+1	+2
アルゼンチン	3%	-2	-2
インド	3%	-1	-5
チリ	3%	+1	+2
マレーシア	3%	+1	=
タイ	3%	=	+1
スペイン	2%	=	+1
ポーランド	2%	=	-3
カナダ	2%	=	+1
韓国	2%	-2	=
メキシコ	2%	=	=
ベルギー	1%	=	-3
オーストラリア	1%	-2	-1
アイルランド	1%	-1	-2
イタリア	1%	-1	-1
南アフリカ	1%	=	-1
インドネシア	1%	=	=
トルコ	1%	-2	=
フランス	1%	=	=
ハンガリー	1%	=	=
米国	1%	-1	=
ペルー	1%	-2	+1
イスラエル	1%	=	-1
ブラジル	1%	=	-1
日本	1%	=	=
スウェーデン	1%	=	=
英国	1%	=	=
ドイツ	1%	=	=
オランダ	1%	-1	=

経済フォーカス

自国の経済状況

イプソスの**世界が懸念していること調査**と並び、毎月実施されている**世界消費者信頼感調査**は、30か国の一般消費者を対象に、国と個人のレベルにおける経済と金融について調査を実施しています。

以下のセクションでは、このデータの一部を用

いて、今月の「世界が懸念していること調査」レポートの背景を説明しています。これは、国民が自国の現在の経済情勢をどのように評価しているかを示すものです。

詳細については、
Emilios.Louca@ipsos.com
までお問い合わせください。

現在の経済状況

30か国全体で、10人中4人が自国の現在の経済状況を「良い」と評価しています。

2025年6月に新政権が発足して以降、韓国では過去12か月で大幅な上昇が見られ、2025年3月比で33ポイント増の42%となりました。これは同国における「経済は良好」とする評価として過去最高の水準です。

また、コロンビア(+20ポイント)、ペルー(+16ポイント)、チリ(+13ポイント)でも、「経済は良好」とする評価が前年から大きく上昇しています。

一方で、反対にメキシコでは前年からの低下幅が最も大きく、2025年3

月比で11ポイント低下しています。

経済を最も懸念している上位国:

- **フランス** (88%が悪い状態だと回答)
- **日本** (81%)
- **英国** (79%)
- **ハンガリー** (76%)
- **南アフリカ** (74%)

33pp

韓国では、「経済は良好」とする評価が過去12か月で33ポイント上昇しています。

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。

現在の経済状況

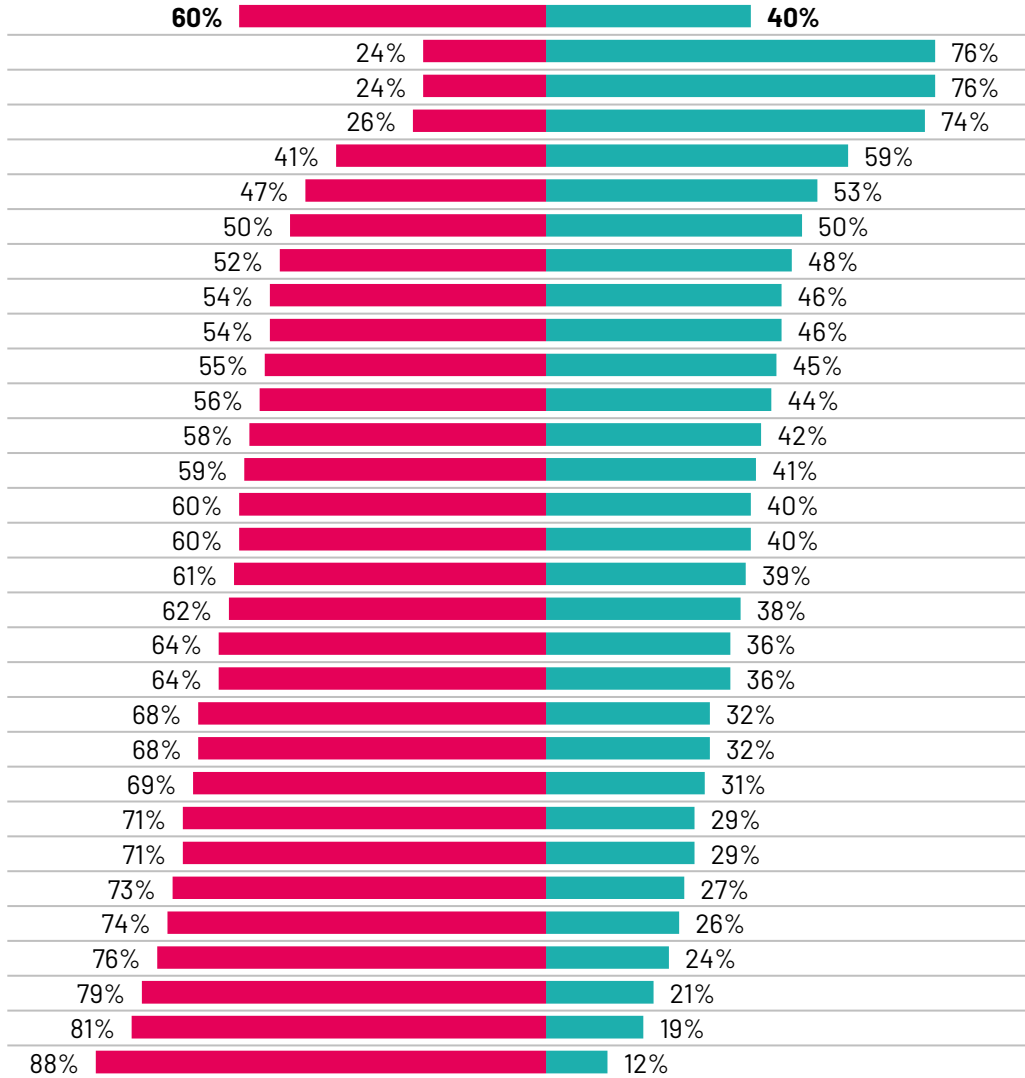
対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

国

世界平均
シンガポール
マレーシア
インド
オランダ
ポーランド
アイルランド
オーストラリア
タイ
インドネシア
コロンビア
スウェーデン
韓国
スペイン
チリ
米国
イスラエル
メキシコ
ペルー
カナダ
ブラジル
ベルギー
イタリア
ドイツ
アルゼンチン
トルコ
南アフリカ
ハンガリー
英国
日本
フランス

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



良い (Blue) 悪い (Red)

前月からの変化	12か月間の変化
-1	+4
-2	-3
-2	+9
-2	-7
-8	=
+2	+12
-6	-5
-1	=
=	+2
-4	+4
-5	+20
-3	+6
+8	+33
+5	+5
-3	+13
-4	+4
-7	+4
-1	-11
+7	+16
+1	+10
=	+5
+2	-3
-2	+3
+2	+3
-5	-2
+1	+4
-3	=
+2	+4
-1	-1
=	+8
+1	=



現在の経済状況

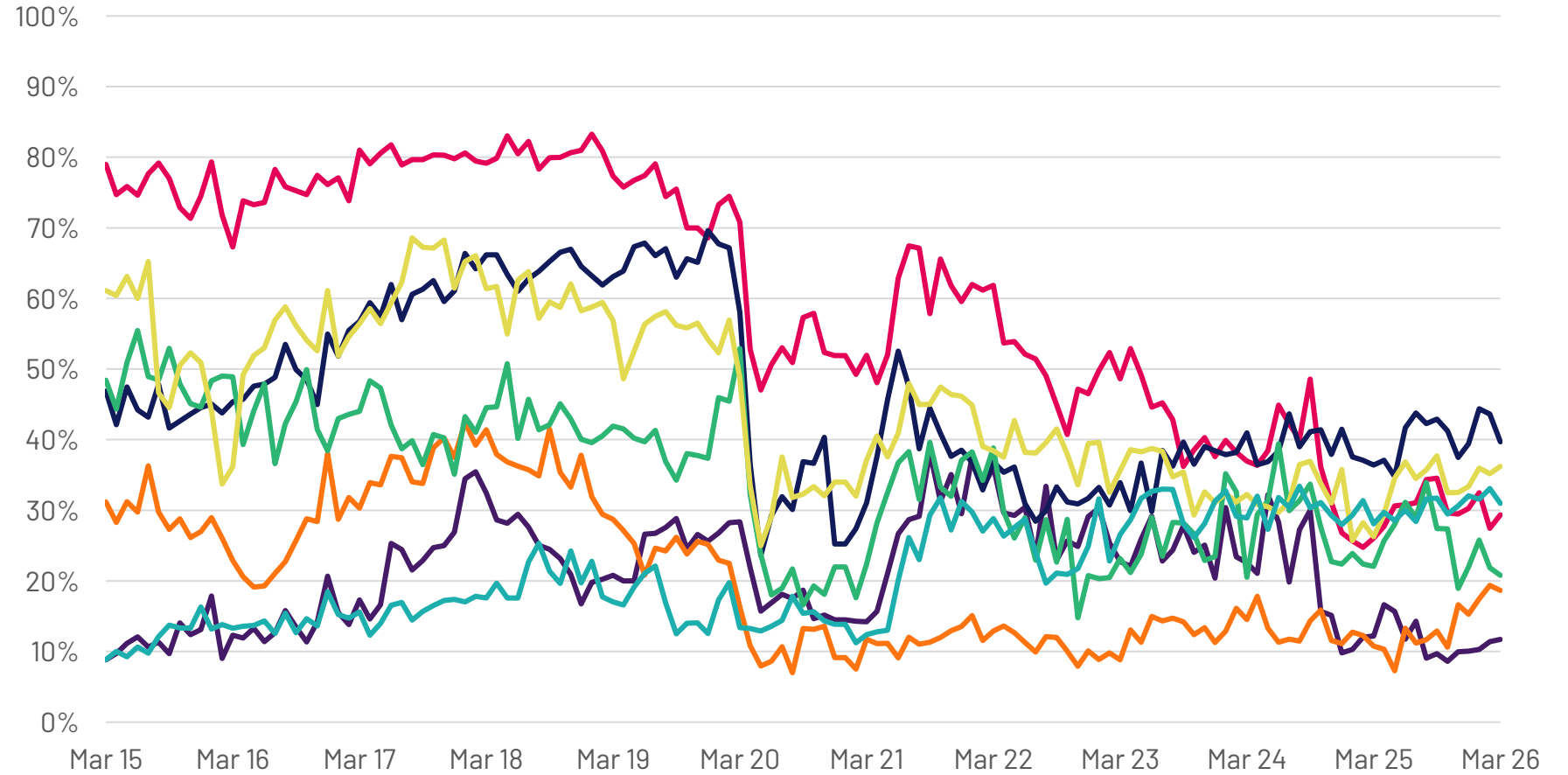
G7

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



フランス

米国

イタリア

カナダ

日本

ドイツ

英国

現在の経済状況

米国

%「とても良い」または「やや良い」

米国の好景気スコアは、前年同時期から4ポイント上昇しています。

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。**フィルター:** 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

カナダ

%「とても良い」または「やや良い」

カナダの好景気スコアは、2022年9月(42%)以降、40%を上回っていません。

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。**フィルター:** 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

イタリア

%「とても良い」または「やや良い」

イタリアは、本調査において依然として最も安定している国であり、過去3年間の変動幅はわずか7ポイントにとどまっています。

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。**フィルター:** 国: 世界 | 最新ウェーブ: 2026年3月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

ドイツ

%「とても良い」または「やや良い」

ドイツの好景気スコアは、2021年以降、着実に低下しています。

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。**フィルター:** 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

英国

%「とても良い」または「やや良い」

英国の好景気スコアは現在、過去10年間の最低値(2022年11月の15%)をわずかに6ポイント上回る水準にとどまっています。

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。**フィルター:** 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

日本

%「とても良い」または「やや良い」

日本の好景気スコアは、現在5か月連続で15%を上回っています。

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。**フィルター:** 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

フランス

%「とても良い」または「やや良い」

フランスの好景気スコアは、18か月連続で20%を下回っています。

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。**フィルター:** 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

コロンビア

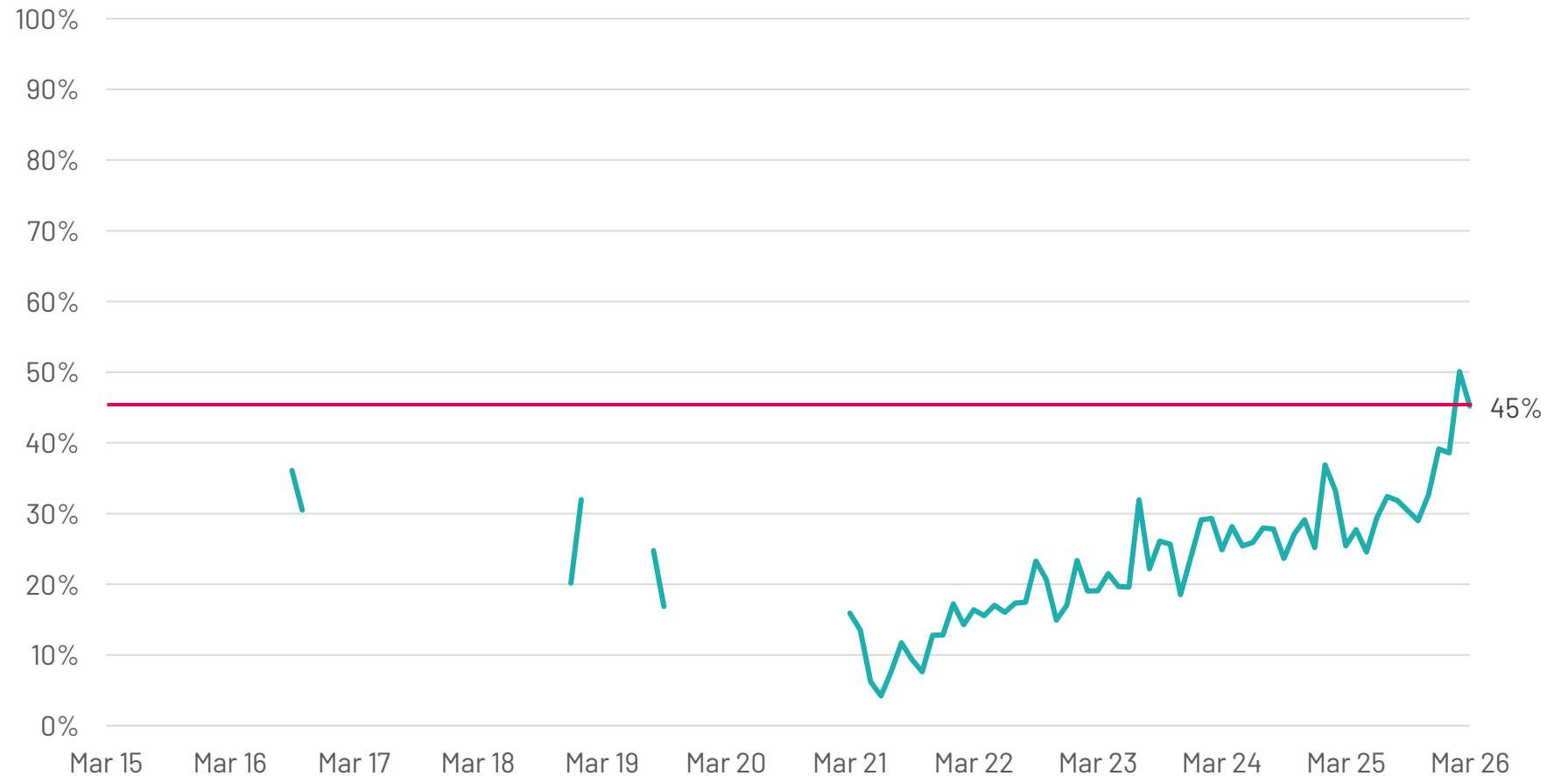
%「とても良い」または「やや良い」

コロンビアの好景気スコアは、前年同時期から20ポイント上昇しています。

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。**フィルター:** 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

メキシコ

%「とても良い」または「やや良い」

メキシコの好景気スコアは、本調査対象の30か国の中で前年からの低下幅が最も大きく、前年同時期から11ポイント低下しています。

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。**フィルター:** 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

ペルー

%「とても良い」または「やや良い」

ペルーの好景気スコアは、前年同時期から16ポイント上昇しており、今月は2020年4月(49%)以来の最高水準を記録しています。

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。**フィルター:** 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

ポーランド

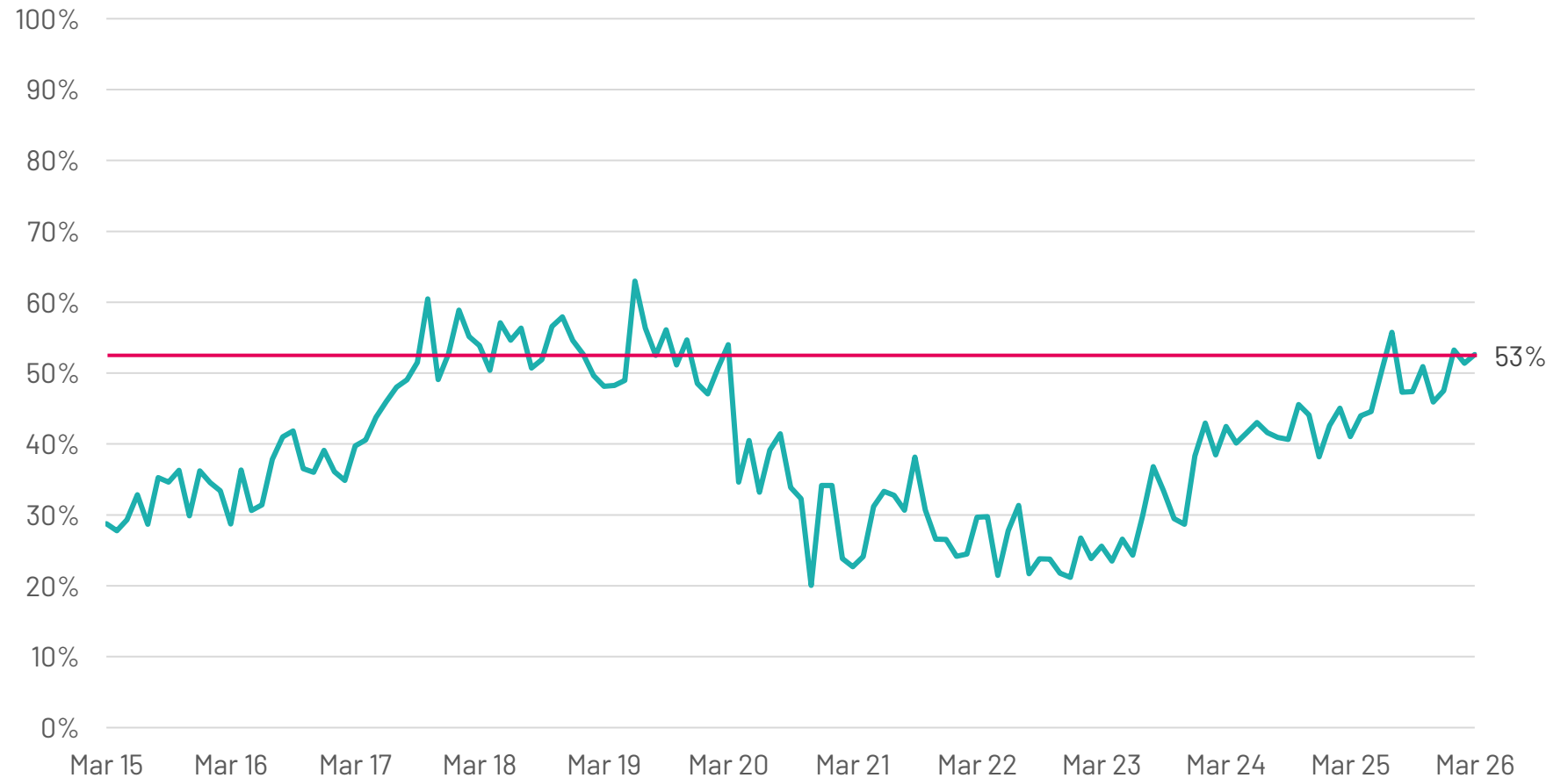
%「とても良い」または「やや良い」

ポーランドの好景気スコアは、2023年以降、着実に上昇しています。

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。**フィルター:** 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

韓国

%「とても良い」または「やや良い」

今月、韓国の好景気スコアは前月から8ポイント上昇し、過去最高を記録しました。

対象: 30の対象国における16~74歳の24,695人を対象とした代表性のあるサンプル(2026年2月20日~3月6日実施)

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは「世界各国平均」です。詳細は調査手法をご参照ください。フィルター: 国: 世界 | 最新ウェブ: 2026年3月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



調査手法

本調査は、30か国におけるグローバルアドバイザー調査で、2026年2月20日から3月6日にかけて、イプソスオンラインパネルシステムを用いて実施されました。対象は、カナダ、イスラエル、マレーシア、南アフリカ、トルコ、米国では18～74歳、インドネシアおよびタイでは20～74歳、シンガポールでは21～74歳、その他の国では16～74歳の各500人です。

「世界各国平均」は、本調査を実施したすべての国の平均値を示しています。各国の人口規模に応じた調整は行っておらず、全体の総計を示すものではありません。

サンプル数は、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、アイルランド、イタリア、日本、スペイン、スウェーデン、米国では各国約1,000人以上、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ハンガリー、インドネシア、イスラエル、マレーシア、メキシコ、オランダ、ペルー、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国、タイ、トルコでは各国約500人以上となっています。

インドのサンプルは約2,200人で構成されており、そのうち約1,800人は対面調査、400人はオンライン調査でインタビューされています。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、米国のサンプルは、これらの国における75歳未満の一般成人人口を代表するものとみなすことができます。

一方、ブラジル、チリ、コロンビア、インド、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口と比べて都市部在住者、高学歴層、および/または高所得層の割合が高くなっています。したがって、これらの市場における調査結果は、よりデジタル接続性の高い層の意見を反映しているものとして解釈する必要があります。

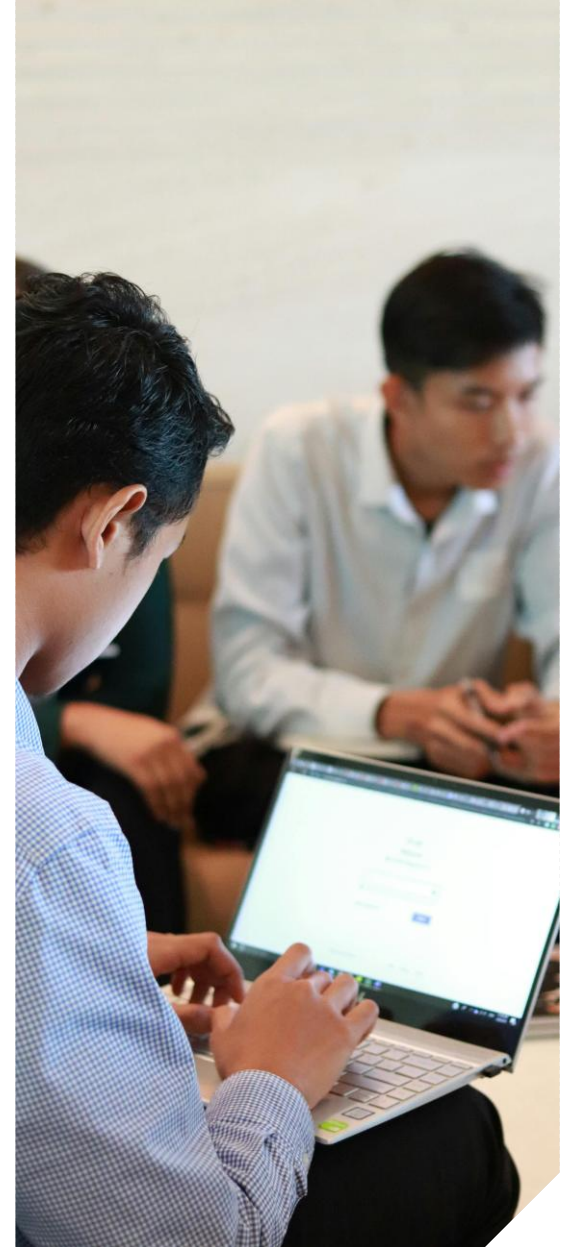
インドのサンプルは、都市部人口の大きなサブセットを代表しており、全国4地域の大都市およびティア1～3都市における社会経済階層A・B・Cを対象としています。

また、サンプル構成が最新の国勢調査データに基づく成人人口の構成を反映するよう、人口統計学的特性に基づくウェイト調整が行われています。

イプソスのオンライン調査の精度は、信頼区間を用いて算出されています。サンプルサイズ1,000の場合は±3.5ポイント、500の場合は±5.0ポイントの精度となります。信頼区間の詳細については、イプソスのウェブサイトをご参照ください。

なお、結果の合計が100%にならない場合や、「差」が±1ポイント程度ずれて見える場合がありますが、これは四捨五入、複数回答、または「わからない/無回答」の除外によるものです。

本調査結果の公表は、各国・地域の法令および規制に準拠しています。



THANK YOU

CONTACT:

Joseph.Nadler@ipsos.com

VISIT:

ipsos.com